

令和 8 年 中国訪中団

私たちは 2026 年の夏に、愛知県の訪中団員として中国の北京と天津を訪れました。



【日中の歴史について】

在日殉難烈士・勞工記念館や、中国人民抗日戦争記念館を訪れました。どちらの記念館にも、当時日本人が中国人を強制的に連行し、労働をさせていたことについての展示がありました。私は、これまで日本が中国を侵略していた歴史について十分に知りませんでした。国によって歴史の捉え方や伝え方が違い、一つの視点だけではなく、さまざまな立場から歴史を学ぶことの大切さを感じました。

【食文化について】

4泊5日の滞在中に、餃子や肉まん、北京ダックなど、たくさんの本場の中華料理を食べました。食事をする時には、料理を真ん中に置いて回して取り分ける円卓が多く、日本とは違った食事の文化を感じました。また、香辛料が使われている料理も多く、辛い料理や日本ではあまり食べたことのない料理もあり、とても新鮮でした。飲み物では、白湯や菊茶などのあたたかい飲み物が多かったです。日本との違いを実際に体験することができました。



【中国の街中について】

中国の街中では、バイクやレンタル自転車の多さに驚きました。自転車やバイクの専用道路も整備されていて、想像していたよりも安全だと思いました。実際に街を歩くことで、中国での交通文化を知ることができました。

トイレでは、トイレットペーパーを流さず、横にあるゴミ箱に捨てる場所が多く、日本との文化の違いに驚きました。個室にトイレットペーパーが置かれていない場所も多く、戸惑いましたが、現地の生活を知る貴重な経験になりました。

【今回の派遣を通して】

実際に現地へ行かないと、分からないことがたくさんあると実感しました。今まで自分が持っていた中国へのイメージや偏見についてとても考えさせられました。国や歴史について一つのイメージだけで判断するのではなく、実際に交流し、自分の目で見て感じる事が大切だと思いました。

この海外派遣を通して、中国の文化や歴史を知るだけでなく、国を超えて人の暖かみを感じることができました。皆さんもぜひ海外派遣に参加して、実際に訪れてみてください！

